

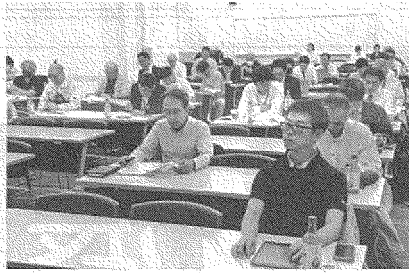
チェックシート活用を

建コン協が地域セミナー

建設コンサルタツ協会

九州支部の品質向上委員会
（石井健太郎委員長）は先

に、大分市内で、設計時に
ミスが発生しやすいポイン
トの確認などエラー防止対
策を中心とした地域セミナー



セミナーには約45人が出席

を開いた。

セミナーには会員企業か
ら約45人が参加。吉野俊輔
理事（精巧エンジニアリン
グ㈱副社長）が「全国の具
体的なエラー事例が学べる
貴重な機会だ。チェックポ
イントシートを活用し、今

後もより一層の品質向上に
努めて欲しい」とあいさつ。

プログラムでは、品質向
上委員会の各担当者が▽河
川の樋門・樋管のチェック
フローと、樋門函体のプレ
キャスト化など最近の動向
▽地盤調査結果の解釈と設
計への適用▽地山補強土工
および吹付砕工のチェック
ポイントシート活用につい

て▽BIM/CIMの活用
状況▽拡幅橋設置時におけ
る各種エラー事例」などに
ついて、資料を基にそれぞ
れ解説。設計担当者、管理
技術者、照査技術者が総合
的にチェックポイントシー
トを活用することで、ミス
防止、安全性、工期内の
完成など、品質の向上と業
務の効率化につながることを
再確認した。

特別講演では、県土木建
築部工事検査室の四嶋信一
室長が登場。「委託業務成
果品の品質向上について」
と題し、自身の経験に基づ
くさまざまな事例を取り上
げ、出席者へ語り掛けた。

同支部では今年、大分、
鹿児島、宮崎の3カ所で地
域セミナーを開催。主に道
路、トンネル、橋梁などの
設計時で、ミスが起こりや
すいポイントについて確認
できるチェックポイントシ
ートの活用について解説を
行っている。（佐藤万実）